

■著作権について

本レポートと表記は、著作権法で保護されている著作物です。本レポートの著作権は発行者にあります。本レポートの使用に関しましては、下記の点にご注意ください。

■使用許諾契約書

本契約は、本レポートを入手した個人・法人（以下、甲と称す）と発行者（以下、乙と称す）との間で合意した契約です。本レポートを甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第 1 条本契約の目的：

乙が著作権を有する本レポートに含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第 2 条禁止事項：

本レポートに含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本レポートから得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本レポートに含まれる情報を使用できるものとします。

第 3 条損害賠償：

甲が本契約の第 2 条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

第 4 条契約の解除：

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することが出来るものとします。

第 5 条責任の範囲：

本レポートの情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。

■目次

- 1-1 仮想通貨には、夢がある
- 1-2 ビットコインってそもそも何?
- 1-3 ブロックチェーンは改ざん・偽造できない
- 1-4 51%攻撃には莫大なコストがかかる
- 1-5 経済合理性によって不正を排除
- 1-6 ビットコインは管理者がない
- 1-7 ビットコインはどこでも誰でも送金できる
- 1-8 国家が規制できない
- 1-9 国が没収することすらできないデジタルマネー
- 1-10 ビットコイン価格は、14年間で500万倍以上に
- 1-11 ビットコイン価格が、まだまだ上がる理由
- 1-12 世界のニーズは高まっていくから
- 1-13 機関投資家の参加が加速するから
- 1-14 おすすめの買い方
- 1-15 コツコツと積立投資
- 1-16 レンディングで儲ける方法もある
- 1-17 レンディングで儲ける方法もある
- 1-18 セキュリティ対策は万全に
- 1-19 コツコツと長期スパンで投資する
- 1-20 マイニングで稼ぐのは?
- 1-21 ビットコインFXは?
- 1-22 ビットコイン投資における注意点
- 1-23 市場が止まらない
- 1-24 投資の対象としてまだ未知数
- 1-25 詐欺が多い
- 1-26 最後に

1-1 仮想通貨には、夢がある



はじめまして、杉浦和久と申します。

2017年より仮想通貨投資をしております。

本レポートを受講しているということは、ビットコインや仮想通貨に関心があるということですね？それは、いい事です。

わたくしは、仮想通貨大好きです。仮想通貨には、夢があります。

現在ビットコイン価格は、600万円ぐらいですが、ビットコインの価格はもっと上がると思っています。個人的には1BTC=3,000万円くらいになることを夢見しています。

2023年1月時点では1BTC=270万円くらいなので、3,000万円になったら約10倍以上ですね。そのような未来を信じて、今も淡々とビットコインに投資しています。

本レポートでは、ビットコインの初心者でも分かるように、以下6つのことを分かりやすく解説していきます。

1. ビットコインってそもそも何?
2. 価格は上がるのか?
3. おすすめの買い方は?
4. マイニングで稼ぐ方法は?
5. ビットコイン FX は ?
6. ビットコイン投資の注意点は?

現在はビットコインに再び注目が集まっていますが、ビットコインを買うなら上記のことを頭に入れておいた方が良いでしょう。

ビットコインに限らず、仮想通貨は詐欺コインも多いため十分注意が必要です。詐欺コインに騙されないためにも、本レポートで勉強してからビットコイン投資を始めてください。

1-2 ビットコインってそもそも何？



ビットコインに限った話ではありませんが、投資するならきちんと勉強した方がいいです。「ビットコインのことはよく分からないけど、とりあえず買ってみる」という買い方はあまりおすすめしません。

例えば、株式投資をするときに、その株のことをよく知らない状態で買うのはとても危険ですよね。ビットコインも同じです。

1万円くらいなら興味本位で買ってでもいいと思いますが、100万円・200万円といった高額な投資をするなら、必ず勉強してから買いましょう。

「ビットコインとは何か？」

と聞かれて、説明できる人は少ないと思います。なので、まずはビットコインの歴史から解説していきます。

ビットコインの歴史はまだ浅く、2009年に誕生したものです。ビットコインは暗号化されたお金なので「**暗号通貨**」、あるいは「**暗号資産**」とも言われています。一般的には「**仮想通貨**」と呼ばれることが多いですね。

ビットコインを生み出した人物は「**サトシ・ナカモト**」と呼ばれる架空の人物です。たまたま日本人の名前が使われていますが、その正体は分かっていません。ただし、ビットコインの初期保有者が持っているコインは、ほぼ動いていないことが分かっているため、サトシナカモトは、すでに亡くなっているという話もあります。ちなみに、サトシナカモトの候補は何人かいるのですが、その中でもハル・フィニーという人物が有力と言われています。

いずれにせよ正体は明らかになっていないので、ビットコインは誰か分からない人物が作ったコインなのです。そんなコインに世界中の人々がこぞって投資をしているというのは、なんともロマンがありますよね。

1-3 ブロックチェーンは改ざん・偽造できない

ビットコインは「ブロックチェーン」という仕組みで動く**デジタルマネー**です。ブロックチェーンは、ビットコインを語る上で絶対に外せない、非常に重要な技術になります。

ブロックチェーンを詳しく解説すると時間がかかるので、今回は「改ざん・偽造できないデータベース技術」くらいの理解で問題ありません。

ブロックチェーンが誕生する前の技術力だと、デジタルデータは改ざん・偽造ができてしまいました。その技術力でお金を扱うのは、非常にリスクが高いと言えます。

例えば、悪意を持った人が銀行にハッキングし、私の通帳から不正送金することもできますからね。ブロックチェーンはそのような問題を解決して、安全に送金できる仕組みを確立しました。

つまりブロックチェーンとは、改ざん・偽造が事実上不可能な非常に堅牢な技

術なのです。だからこそブロックチェーンは革命的な技術とされています。

仮にあなたが「ビットコインのネットワークをいじってやろう」、「数字を改ざんしてやろう」と思ったときに、その計算結果を書き換えるには、莫大な電力が必要になります。だから事実上、ビットコインは改ざん不可能なのです。

1-4 51%攻撃には莫大なコストがかかる



もしデータを書き換えたいなら、ものすごい勢いでコンピューターを動かし、ビットコインのネットワーク上で51%の計算力を得る必要があります。

そのためのコストは、電気代だけで1時間8,000万円かかると言われており、それでも成功するか分かりません。

しかも、ビットコインのネットワークは、日に日に拡大しているので、コストはどんどん上がっていくでしょう。将来的には、恐らく1時間で10億円くらいの電気代が必要になります。

さらにデータを改ざんするためには、電力だけでなく高性能のコンピューターをいくつも用意する必要があり、そのコンピューターを用意するだけで多分100億円くらいかかります。

これだけコストをかけて攻撃しても、成功するか分からないのです。そこまでして攻撃するくらいなら、まじめにビットコインのネットワークを計算した方が良いと思いませんか？

ネットワークを正しく計算すると報酬がもらえます。

これを「マイニング報酬」と言います。攻撃するのではなくマイニングした方

がお得なので、ハッキングするのではなく、マイニングしようと思う人がほとんどでしょう。だからビットコインは、ハッキングされる可能性が非常に低いです。

1-5 経済合理性によって不正を排除

ちょっと難しい言い方をすると、ビットコインは「経済合理性によって不正をほぼ完璧に排除している」と言えます。つまり、何か悪いことをすると莫大なコストがかかるので、悪いことを企んでいた人達は、

「これって、割に合わないんじゃない？」となります。

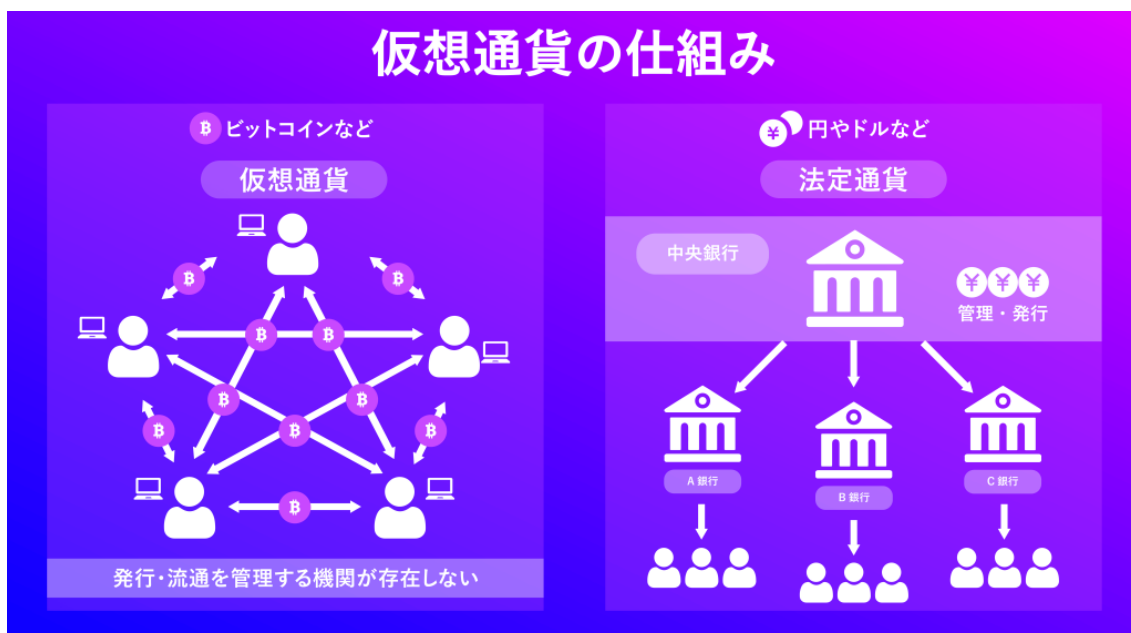
そして「では、どうするか？」を考え、結果的に真面目にやるという判断になるのです。銀行強盗に入ろうと思ったものの、あまりにセキュリティが堅牢すぎて、逆に銀行員になっちゃう・・・みたいな感じですかね。

事実としてビットコインのネットワークは、今まで改ざんや偽造をされたことはありません。ブロックチェーンは、本当に革命的テクノロジーで、悪いことをしようと思っても、できない仕組みを作りあげています。

1-6 ビットコインは管理者がいない

ビットコインは、管理者がいない点も革命的です。誰も管理していないのに正しく計算されて、改ざんも偽造もされないって…よく分からないですよ？
例えば、日本円は「日本銀行」が管理者ですが、ビットコインは「皆で管理し合っている」というイメージが近いです。

仮想通貨の仕組み



特定の誰かが管理しているわけではないので、ビットコインのネットワークは自由に参加できます。自分でコンピューターをそろえれば、ビットコインの計算は誰でもすぐにできるのです。そのため計算力が世界に分散され「皆でネットワークを作っている」状態になります。

また、ビットコインは開発にも参加できます。

BIP(Bitcoin Improvement Proposals)と言って、ビットコインの改善提案は誰でもできるため、世界中の開発者がビットコインの改善提案を行っています。

もちろん実際に改善提案するのは難しいです。

私では無理ですし、本講座を受講している大半の人は、できないと思います。

ただ、頑張って勉強すれば改善案を提案でき、世界中の開発者がその提案に賛同すれば、自分の提案が開発に取り入れられます。

お金の開発に参加できるって、よく考えたらすごいですよね。この「管理者がいない」「開発に参加できる」という点、そして先ほど解説した「ブロックチェーンの堅牢さ」を加えた3点が、ビットコインは革命的と言われる理由であり、ここまで注目されている理由です。

1-7 ビットコインはどこでも誰でも送金できる

ビットコインを送金するときに必要なのは、インターネット環境とウォレットアドレスだけです。ウォレットアドレスとは、ネット上につくる自分の財布のようなものです。簡単に作れます。

ウォレットをつくと、QRコードとアドレスが表示されます。

そのQRコードを読み込むかアドレスを入力するだけで、誰でもビットコインを送金できる仕組みです。すごくシンプルです。

アドレスさえ知っていれば、世界中で自由にビットコインを送れるため、ビットコインは「差別のないお金」とも言えます。

ちなみにアドレス自体は匿名化されているので、アドレスを見ただけでは誰のウォレットが分かりません。

ビットコインを送金する話で言うと、最近ブロックストリームという団体が面白い取り組みをしています。

それは宇宙に衛星を飛ばして、世界から圏外をなくそうとしていることです。

その衛星によって、アフリカの奥地でも北海道の山奥でも、ビットコインを送金できるようになるそうです。

1-8 国家が規制できない

勘のいい方は、気づいたかと思いますが、国家でさえビットコインを規制できません。ビットコインを規制するためには、インターネットを禁止する必要があります、それは実質不可能だからです。

言い換えると「個人」が保有する通貨を「国」が規制できないのです。

今までこのようなことはあり得ませんでした。

例えば、あなたが国を追われ、国外逃亡しても、日本円をビットコインに換えておけば、日本政府はあなたのビットコインを回収できません。

ビットコインは、悪いことにも使えてしまうお金であり、国としては頭の痛い問題です。

1-9 国が没収することすらできないデジタルマネー

ビットコインは、人類共通の自由通貨とも言え、世界中の人達が使える通貨です。こんな通貨は今までなかったので、今を生きる私たちは「新しいイノベーションの誕生」に立ち会っているとも言えるでしょう。

ただビットコインは、新しすぎるので、「使える場所が限られている」などのデメリットもあります。

また大半の人は「ウォレットアドレスって何?」、「ブロックチェーンって何?」というレベルです。とはいえ、ビットコインは大きなイノベーションであることは間違いないので、世界中の人達から注目されています。

そして、あなたに伝えたいことは、「ビットコインは大したものではない」、「しょせんは架空のお金でしょ」という意見は、ビットコインをよく知らない人の意見だということです。

ビットコインは「国のあり方」すら変える可能性がある革命的なものなので、まずはその点を理解しておきましょう。

1-10 ビットコイン価格は、14年間で500万倍以上に

ビットコインの歴史について語ってきましたが…

あなたが気になるのはビットコインの歴史ではなく、おそらく「ビットコインって、今後値上がりするの?」ということでしょう。

もちろん未来は分かりません。

ただ少なくとも、ビットコインの価格は上昇しています。

2010年くらいは1BTC = 0.4円くらいでした。

2023年12月時点では1BTC = 600万円くらいまで上がっています。



ビットコインには「ビットコイン・ピザデー」という有名な話があります。2010年にラズローという人が、1万 BTC でピザを2枚買いました。1万 BTC は今の価格 ※ で 約 240 億円なので、ラズローさんは、ピザ2枚を240億円買ったこととなります。

要するに当時のビットコインは、極めて価値の低いデジタルマネーでした。なのでラズローさんも、「1万 BTC (数千円)でピザでも買うか〜」くらいのノリだったのでしょう。今ではビットコインの価値は大きく上昇しており、当時の500万倍くらいになっています。つまり14年くらい前には、そんな大きな投資チャンスがあったということですね。

ただ当時は、ビットコインが誕生したばかりの時期なので、ビットコインの知名度は全くなかったです。もちろん私も知りませんでした。

もう少し最近の話で言うと、2015年と2020年を比べてもビットコインは72倍くらいになっています。

つまり2015年に100万円分のビットコインを買っていたら、2020年には7,200万円になっていたということです。

「億り人」なんて言葉も流行りましたが、数百万円投資して億に化けた人は結構いたと思います。

1-11 ビットコイン価格が、まだまだ上がる理由

さてここまでは過去の話ですが、気になるのはこれからの話だと思います。冒頭でも言いましたが、私はビットコインの価格は、まだまだ上がると思っており、その理由は以下の3つです。

1. ビットコインの地位が固まったから
2. 世界のニーズが高まっていくから
3. 機関投資家の参加が加速するから

このような理由からです。
これら理由について詳細に説明していきます。

まずは、ビットコインの地位が固まったからについてです。
少し前までは、ビットコイン以外のコインが、「ビットコインを超えていくのでは?」と言われていた時期もありました。
現にビットコインもビットコインキャッシュ(BCH) と分裂しましたからね。
そのときもビットコインではなく、ビットコインキャッシュが優勢になるのでは? と予測している人もいました。

しかし結果的には、ビットコインキャッシュは完全に劣勢になり、むしろ失敗したと言ってもいいでしょう。
つまり「色々あったけど、やっぱりビットコインだよね」という状態になっており、ビットコインの地位は完全に固まりました。
少なくとも 2023 年時点では、ビットコインを超える通貨はないと言って良いでしょう。
勝者総どりのルールに基づくと、これからビットコインを超えるデジタルマネーが出てくる可能性は極めて低いと、個人的には思っています。

1-12 世界のニーズは高まっていくから

ビットコインに対する世界のニーズは、今後もっと高まっていくでしょう。というのも、ビットコインはある意味「究極の安全通貨」と言えるからです。前述の通り、ビットコインは国ですらコントロールできません。国が没収できない通貨なので、仮に「国(政府)に自分の通貨を奪われる」と感じれば、全部ビットコインに換えておけば問題ありません。

今グローバルな経済を見ると、コロナショックの影響もあり各国が通貨を大量に供給しています。つまりお金がじゃぶじゃぶ刷られているのが現状です。日本も借金が膨れ上がり、本当に大丈夫なの?と思うくらい市場にお金が供給されています。

想定できる最悪のケースは、いわゆる「ハイパーインフレ」が起きることでしょう。ハイパーインフレとは、世の中にお金が供給されすぎることによって、お金の価値が落ち、物価が大幅に上昇する現象です。

1万円の商品が100万円になってしまう…という世界観ですね。そうなると貯金は紙くず同然になり、経済はメチャクチャになります。残念ながら日本経済の将来は明るくないので、日本円の将来性は低いと思います。つまり日本円の価値が下がることで、ハイパーインフレ(物価の高騰)が起こるリスクはゼロではないということです。

だから私は、資産の一部をビットコインに換えているのです。人によっては「さすがにそれはビビり過ぎじゃない?」と思うでしょう。しかし合理的に考えると十分にありえる話です。このような動きは世界的に加速すると思います。世界には日本より経済が不安定な国がたくさんあり、特に発展途上国では自国の通貨価値が暴落するケースが増えています。

たとえば、ベネズエラでは2019年にハイパーインフレが起こり、なんと年率268万%も物価が上昇しています。268%ではなく268「万」%ですよ?つまり1万円の商品が、約2.7億円になるということです。嘘みたいですが本当の話です。当然ながら経済はマヒしました。仮に日本でも似たような状況が起これば、必死に貯めた2.7億円の貯金が1万

円にまで暴落するという事です。

ベネズエラの件を考えると、自国の通貨をビットコインに換える気持ちは分かると思います。マイノリティ(少数派)ではあるものの、経済が不安定な発展途上国では、このように考える人はいるでしょう。

その人達が今後さらに増えれば、ビットコインの需要が上昇して価格は上がるというわけです。

1-13 機関投資家の参加が加速するから

3つ目のビットコイン価格が、今後値上がりする理由としましては、

「機関投資家の参加が加速する」点があります。

先ほどのハイパーインフレの話は、やや現実味がないかもしれませんが、機関投資家の参加はすでに加速しています。つまりプロの投資家たちは、今ビットコインを買っているのです。

日本でビットコインバブルが起こった 2018 年の初頭には、この動きはありませんでした。この頃は、まだ素人しかビットコインを買っていなかった時代です。

一方、2020 年ぐらいからプロがビットコインを買っており、この流れは加速すると思います。加速すればビットコインにお金流れ、価格は上がっていきます。またビットコイン ETF も、今度どんどん実現していくでしょう。



本コースでは、ビットコイン ETF の詳細は省きますが、ビットコイン ETF が実現すれば金融機関がビットコインを買いやすくなります。

現時点では取引と管理の煩雑さから、金融機関はビットコインを買いにくい状況です。しかし、ビットコイン ETF がたくさん実現して、その問題が解消すれば、金融機関もどんどんビットコインに参入してくるため、ますますビットコインは盛り上がるというわけです。

個人投資家も一般的な証券会社でビットコイン ETF を買えるようになり、さらに税率も下がります。

このようにビットコイン ETF が今後たくさん実現すればメリットだらけなので、ますますビットコインに投資マネーは流れるでしょう。

ちなみに、もしビットコインが金 (ゴールド)と同じ時価総額になると、なんと $1\text{BTC} = 4,000$ 万円くらいになります。

夢がありますよね。

もちろん実現するか分かりませんが、私はあり得ない話ではないと思っています。とはいえ、ビットコイン価格が短期で乱高下しているのは事実です。

現に 2021 年 11 月ビットコインは最高値の 720 万円をつけた後、急落し、240 万円ぐらいなっています。短期スパンで売買すると、損する可能性がある点は認識しておきましょう。

私の投資スタイルは、10 年スパンの長期投資なので、短期で半額になろうが倍になろうがあまり気にしていません。コツコツ淡々と買っていただけです。

いずれにしろ、私が今後もビットコインの価格が上がると思っている理由は

1. 「ビットコインの地位が固まったから」
2. 「世界のニーズは高まっていくから」
3. 「機関投資家の参加が加速するから」

の 3 点です。

1-14 おすすめの買い方

ビットコインの買い方について話していこうと思います。

ビットコインを買うためには、まず仮想通貨取引所で口座を開設します。

海外の仮想通貨取引所もありますが、初心者の方は、日本円で売買できる日本の仮想通貨取引所がいいでしょう。

ビットコインを買うときの注意点は、必ず「現物取引」で買うことです。

仮想通貨取引所では「現物取引所」と「販売所」の 2 種類ありますが、販売所で買うと割高になるので要注意です。

現物取引所と販売所では仕組みが違います。

現物取引は、ユーザー同士で売買するので、別のユーザーが売り出したビットコインを買います。

一方、販売所では仮想通貨取引所が仕入れたコインを買います。

販売所で買うと手数料が上乘せされるので、必ず現物取引で買いましょう。

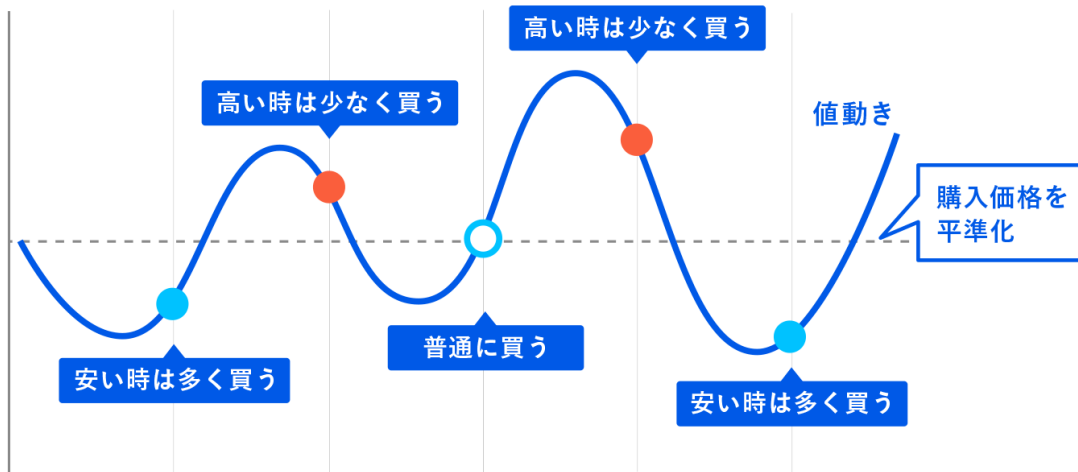
なお海外の仮想通貨取引所に販売所はないので、アルトコインも現物取引できます。仮想通貨投資に慣れている人は、海外の取引所の方がいいかもしれませんね。

1-15 コツコツと積立投資

ビットコインを買う方法が分かったところで、次にビットコインの「買い方」の話をしていきます。

ビットコインを買うなら積立投資が良いでしょう。

いわゆる**ドルコスト平均法**と言われる手法で、時間を分散させて、コツコツとビットコインを買っていきます。



ビットコインは、投資商品の中でも特に相場が読めないなので、買うべきタイミングを判断しにくいです。なので、たとえば「月初に買う」と決め、1月1日・2月1日…3月1日…と機械的に買っていきます。

一気に資産を投下するのではなく、時間を分散させることでリスクヘッジするというわけです。このように、コツコツ淡々と時間を分散させて買っていく手法は、現在の王道スタイルです。

過去のチャートを見ても、ビットコインの価格は変動が激しいため、ドルコスト平均法が向いていることは分かっています。



出典：[ビットコイン \(BTC\) 価格・チャート・時価総額 | CoinMarketCap](#)

私たち素人に相場は読めないなので、毎月 1 回くらいコツコツ積み立てていく方法がおすすめです。

資金を一気に投下するのではなく、欲を出さずにコツコツ買っていきましょう。

1-16 レンディングで儲ける方法もある

ビットコインをコツコツ買っていくと、少しずつビットコインが貯まっています。私はそのビットコインをレンディングに回し、少しずつ増やしています。

レンディングとは、ビットコインの取引所に対して、私たちが持っているビットコインを貸し付けることです。銀行の預金と同じように、利子を付けて返してくれます。

取引所も顧客と取引するときにビットコインが必要なため、第三者に借りてでも、ビットコインを保管しておきたいのでしょうか。

1-17 レンディングは取引所によって利率が違う

日本の取引所に限らず、一般的な取引所ならどこでもレンディングができます。ただし一度貸し付けると、原則は一定期間引き出せません。

つまり「強制ガチホ」されるため、売ろうと思っても売れず、1年くらいはロックされます。

とにかくレンディングは、

「取引所に仮想通貨を貸し、利子を付けて返してもらう仕組み」 のことです。年利換算すると、大体 **1~5%** くらいの利回りを期待できます。

ただレンディングしている取引所が倒産したら、貸し付けている仮想通貨が消滅するリスクがあります。この点はレンディング契約をする時に、規約を確認しておきましょう。

1-18 セキュリティ対策は万全に

もしレンディングに興味がないなら、仮想通貨はハードウェアウォレットで管理するといいです。ハードウェアウォレットは、仮想通貨を格納できるもので、USB メモリーのような形状をしています。



仮想通貨をハードウェアウォレットに入れて、それを金庫などに保管しておけば、自分の仮想通貨を奪われることはまずないでしょう。

ほかにもハッキング対策として、取引所での二段階認証も必須です。

基本中の基本なので、必ず二段階認証はしておいてください。

1-19 コツコツと長期スパンで投資する

私の投資スタイルをまとめると、ドルコスト平均法でビットコインをコツコツ買って、貯まったビットコインは、レンディングに回してひたすら放置… というスタイルです。

つまり基本は売らずに買うだけです。あなたにも、この方法をおすすめしたい

と思います。賛否両論ありますが、短期でビットコインを売るのは基本的によくないです。

確かに短期トレードで稼げている人もいますが、私は素人のトレーダーなので、短期売買のリスクは大きいです。

先ほども少し触れましたが、仮想通貨取引の税率はめちゃくちゃ高く、最高税率が 55% になることもあります。

リスクを取って売買した上に、税率も高いので、短期で売ることはバカらしいと思います。

将来的には恐らく 20% くらいまで税率は下がると思うので、それを待ってから売却した方がいいでしょう。

あと何度も言いますが、ビットコインは、まだまだ上がる可能性があります。2021 年 11 月 13 日には 1BTC = 730 万円まで上がりましたが、それでも過小評価されていると思います。

なので、私は基本的に 20 年くらいは売らない予定です。

「売らないと死んでしまう」くらいの状況にならない限り、売らないと断言しておきます。

1-20 マイニングで稼ぐのは？

マイニングとは

「ビットコインのネットワークを計算してお金をもらうこと」です。

マイニングは誰にでもできますが、正直言って儲かりません。

電気代がものすごく高くなる上に、パソコンからの熱で部屋がめっちゃ熱くなります。マイニングに手を出すのは、お金と時間のムダと断言していいでしょう。

マイニングすること自体は勉強になるので、「片手間にマイニングやってみようかな」くらいならいいと思います。

ただ儲けることを目的にやるものではなく、少なくとも電気代が高い日本では、マイニングで稼ぐのは難しいです。

マイニングは、事業としても非常にハイリスクであることは証明されています。というのも、過去に GMO と DMM の二大巨頭もマイニングに参入しましたが、どちらも大失敗に終わっているからです。

GMO と DMM のレベルで失敗しているのです、私たち素人がマイニングに手を出しても、上手くいくわけないです。

またマイニングには「クラウドマイニング」という種類もあります。クラウドマイニングは、自分のパソコンを利用しないマイニングのことで、「お金」を投資してマイニングに参加するようなイメージです。

私もクラウドマイニングをやったことがあるのですが、結論からいうと全然儲かりませんでした。

あと、クラウドマイニングは詐欺が非常に多いです。今の段階でクラウドマイニングを勧誘している人がいれば、ほぼ詐欺だと思っていいでしょう。

なので基本的にはクラウドマイニングにも手を出さない方が良いでしょう。

1-21 ビットコイン FX は？

「ビットコイン FX はどうですか？」

という質問をよくいただきます。

ビットコイン FX とは、短期でおこなうトレードであり、秒単位で取引することもあります。

しかもビットコイン FX は、レバレッジをかけられる取引なので、100 万円の資金で 1,000 万分の投資をする... ということも可能です。

つまりハイリスク・ハイリターンの取引手法です。

先ほど言ったように、私は長期の積立投資を推奨しているので、短期のビットコイン FX はおすすりません。

1-22 ビットコイン投資における注意点

ビットコイン投資における注意点をお話します。

具体的には以下 4 点です。

- ① 売却時の税率が高い
- ② 市場が止まらない
- ③ 投資の対象としてまだ未知数
- ④ 詐欺が多い

これら 4 点の詳細を説明していきます。

① 売却時の税率が高い

先ほどから言っていますが、仮想通貨の税率は最大で 55% です。

例えば、ビットコインの売却益が 2,000 万円あっても、手元に残る利益は 900 万円です。 1,100 万円も税金で持っていかれるって… 地獄ですよ。

何のために稼いだのか分からない話になってくるので、多額の利益を得るときの売却はおすすめしないです。

税金は利益が確定したら課税される仕組みなので、含み益 (売却せずに保有) だったら課税されません。 そのため含み益がある人は、売却せずに保有しつづけた方が良いと思います。

通常の投資なら売却時の税率は一律約 20% 程度なので、いずれ仮想通貨の税率も同水準になると思います。

1-23 市場が止まらない

ビットコインの市場は、24 時間 365 日年中無休で動いています。

これは「いつでも投資ができる」というメリットに思えますが、「中毒になってしまう」というデメリットの方が大きいです。特にハマり症の人は、短期の投資は絶対にやめた方がよいと思います。

1-24 投資の対象としてまだ未知数

ビットコインができたのは2009年くらいなので、まだまだ歴史は浅いです。私はビットコインの未来を信じているものの、歴史が浅いのは事実なので、これからどうなるかは未知数です。投資の対象として、20年~30年後には多数派の支持を得られると思っています。

しかし、こればかりは未知数なので、自己責任で判断してください。

またビットコインをメインに投資するのは危険です。

今後価値がなくなる可能性もゼロではないため、大きな損失を被ることがあります。私自身は、香港で個人年金ファンドをメインに積立投資をしています。その投資で残った予算を、ビットコインに投下している感じです。

1-25 詐欺が多い

ビットコインは、現物取引で買って下さい。

たまに「私にお金を預けてくれれば、あなたの持っているビットコインを5倍にします」

みたいな怪しい人達がありますが、これは詐欺なので本当に気をつけてください。

少し前には「究極の仮想通貨を作りました」と言う人や、「クラウドマイニングやアービトラージでビットコインを増やします」という人もいました。

これらは99.9%詐欺です。

2019年だと「プラストーン」の詐欺で4,000億円を超える被害が出ました。

これは人類の歴史上、最大規模の詐欺だと思います。

それほど大規模な詐欺が起こるのが仮想通貨の世界です。

「プラストーン」と検索すると…まだサイトが残っています。

皆さんも検索してみてください。

サイトに書かれていることを要約すると、以下の通りです。

- 毎日資産が増えていく次世代型ウォレット
- 500ドルから始められる

- 日利 0.3%、 月利 10%
- 自動で利益を生み出すシステム

どうですか？ めちゃくちゃ怪しいですよ

月利 10%の投資なんて絶対にありません。

それでも騙される人は大勢いて 4,000 億円の被害が出てしまいました。

皆さんは大丈夫だと思いますが、こういう詐欺は、勧誘が激しいので要注意です。言うなれば洗脳に近い勧誘方法なので、怪しい話を持ちかけてくる人には十分注意してください。

1-26 最後に

本レポートを最後まで受講して頂き、誠にありがとうございました。

本レポートでは、ビットコインの仕組みやおすすめの投資スタイル、詐欺を含む注意点などをお話してきました。

ここまでをざざっとおさらいしてみましよう。

まず「ビットコインはめちゃくちゃ革命的なんだ」という話をしました。

今後価格が上がるかどうかは分かりませんが、国でも規制できないビットコインは、本当に革命的な通貨です。インターネットの誕生と同じくらいのインパクトだと言えます。

ただ、ビットコイン以外のアルトコインは、投資初心者には、基本的におすすめできないという話もしました。アルトコインに手を出すなら、かなり勉強しないとダメです。アルトコインで稼ぐ難易度は、非常に高いと思います。

ほかには、マイニングとビットコイン FX もおすすめしません。

ビットコイン FX は、プロがしのぎを削る世界なので、私たち素人では太刀打ちできません。そして投資スタイルの話もしました。私のおすすめは、長期の積立投資です。ドルコスト平均法でコツコツと積立投資をおこない、購入したビットコインはレンディングに回すというスタイルです。

ただ結構怪しい取引所もあるため、どの取引所でレンディングするかは慎重に判断しましょう。

もしレンディングが怖いなら、ハードウェアウォレットでしっかり管理して、ハッキングされるリスクを抑えましょう。

何度も言いますが、私は長期の積立投資を強くおすすめします。

価値観は人それぞれですが、ビットコインはベンチャー企業みたいなものなので、長期スパンで考えないといけません。ベンチャー企業に投資するときも、すぐにリターンは求めませんよね。

数年から10年以上という長期スパンでリターンを期待します。

ビットコインもそれと同じで、これから伸びていくものです。

一方、「短期取引で資産を10倍にした」という人がいるのも事実です。

でもビットコインはそういう投資商品でなく、長期的にじわじわ伸びていくものだと思っています。私は、これからもビットコインを買い続けるので、もしビットコインが消滅したら笑ってやって下さい。

それでは、以上となります。

ありがとうございました。

—

■ 発行者情報

発行者：杉浦和久

連絡先：crypto@dotcomexpertsecrets.com

ブログ：<https://dotcomexpertsecrets.com/>

■ おすすめ教材

商品名：4年に1度しか訪れない仮想通貨投資の一大イベントが来年2024年4月に訪れるのをあなたは知っていますか？

⇒ [コチラから](#)

1. 今さら聞けない、仮想通貨（暗号資産）ビットコインの基礎の基礎

⇒ [コチラから](#)

2. 仮想通貨（暗号資産）ビットコインの超基本を学ぶ

⇒ [コチラから](#)

3. 仮想通貨（暗号資産）ビットコインの全ての基礎がわかる

⇒ [コチラから](#)

4. 草コインからビットコインに次ぐ将来有望な銘柄の探し方

⇒ [コチラから](#)

5. 日本人の99%が全くわかっていない仮想通貨の超ポテンシャル

⇒ [コチラから](#)

6. 仮想通貨投資を元手に資産形成をし老後を自由気ままに過ごす戦略

⇒ [コチラから](#)

7. 失敗しない国内仮想通貨取引所を選ぶために注目すべき4条件

⇒ [コチラから](#)

8. 失敗しない海外仮想通貨取引所を選ぶために注目すべき条件

⇒ [コチラから](#)

9. メタマスク（MetaMask）完全操作マニュアル

⇒ [コチラから](#)

10. NFT(ブロックチェーン)ゲームを無課金で遊べるおすすめ9選

⇒ [コチラから](#)

11. 2024年4月の4度目のビットコイン半減期を大予測

⇒ [コチラから](#)

12. 年利8%以上で運用ができる仮想通貨ステーキング【超入門】

⇒ [コチラから](#)

13. 意外と知られていない超高いコスパの仮想通貨積立とは？
⇒ [コチラから](#)

14. 1億倍を達成した第2のビットコインを探し出すアルトコイン戦略
⇒ [コチラから](#)

15. 草コインを当中させ億り人になるアルトコイン完全攻略マニュアル
⇒ [コチラから](#)

16. 2024年5月からビットコイン仮想通貨のバブル相場が始まる！
⇒ [コチラから](#)

17. 仮想通貨積立 x ステージングを同時実現させるハイブリッド投資
⇒ [コチラから](#)

18. 通勤時のすき間時間にポイ活して毎月1万円のご小遣いを貯める
⇒ [コチラから](#)

19. リスクゼロで3万円の軍資金を準備する【自己アフィリエイト】
⇒ [コチラから](#)